

JVCレクソンマスターで

自分の音を 録って聞こう♪

CD連動 付属CDでレクソンマスターで録音した
みるとさんの音が聞ける！



チューナー、メトロノームといった練習に必要な機能が全部詰まっています、機械が苦手でもカンタンに使える。さらに小さくて持ち運びに便利で、綺麗な音で自分の音を残せる……そんなOcarina吹きの理想をすべて叶えてくれる音楽練習用のレコーダーが、「レクソンマスター」です！

今回登場いただくのは、本誌「おっかしーなオカリーナ」でもおなじみのOcarina奏者 みるとさん。普段からレクソンマスターを活用しているみるとさんに、その魅力と、自分の音を録音することの重要性を聞きました。



特別企画

付属CDに、レクソンマスターで録音したみるとさんの音源を収録！

レクソンマスターの録音性能を体感！

収録場所は 普段レッスン
トラック6 にも使われている6畳ほ
「G線上のアリア」 どの部屋で、レクソンマ
スターのリアルな音を皆さ
んにお届けするためにそ
の場で一発録りをしていただきました！ 複雑なセッティ
ングなどは一切なし。ポンとレクソンマスター(RD-R2)
を置き、ワンタッチで録音しただけですが、美しい響き
で録音できている
のがわかりたい
だけではない
でしょうか。これだ
け綺麗に録れば、
自分の音が周り
にどのように聞こ
えているのか確認
できますね。



「G線上のアリア」収録時のセッティング

レクソンマスター 1台で、
1人アンサンブル曲が作れちゃう！

前号で紹介した「ちょいREC.No.1 決定戦」
トラック7 の表彰式にて、みるとさんのデモンスト
「茶色の小瓶」 レーションで披露された曲です。何本もの
Ocarinaでアンサンブルしたように聞こえ
ますが、なんとこの曲、1本の楽器とレク
ソンマスター 1台 (RD-R2) だけで作られたものなんです。録音場所
は寝室と車の中という環境ながら、クリアに録音されています。

- ①メトロノーム機能の拍子を変更して、リズムトラックとして活用。
- ②ソプラノF管、アルトC管、アルトG管の三重奏用にアレンジされたこの曲を、「キーコントロール」機能と「WAV変換コピー」を使ってアルトC管一本のみで録音。この機能を活用すれば、レクソンマスター内だけですぐに移調ができてしまうため、一人で手軽にハーモニーを作成することが可能となります。
- ③移調を行なったファイルに別のパートを重ね録音していき、それを繰り返して1つの曲が完成！



「録って聞く」を継続すること

—— Ocarina練習において、自分の音を録って聞くことは大事だと思いますか？
みると それは絶対に必要だと思います。客観的に聞かなければわからないことがたくさんありますから、「録って聞く」という作業はとても重要です。例えば今号の特集の「ヴィブラート」に関して、ちゃんとできているかどうか、録って**客観的に聞いて確認すること**が大切です。そしてもう一つ重要なのが、「録って聞く」という作業を継続すること。上達するうえで一番大事なことは「継続」だと思っています。僕は昔テープレコーダーで自分の音を録音していたのですが、テープなので音が劣化するんです。録った音を聞いて「自分の音はこんなにも汚い音なのか」と、嫌になって録ることをやめてしまった時期もありました。レクソンマスターなら**自分の音をいつまでも良い音で残せます**。だから、レクソンマスターが「高音質」という部分にこだわり、そこに手を抜いていないという点は素晴らしいですね。

テープレコーダーの感覚で手軽に使える

—— 最近はテープレコーダーが売ってなくて代わりが欲しい方も多いと思いますが。
みると そうですね。レクソンマスターは一目見て「使いやすいそう」な印象を受けます。実際に簡単に使いやすいのですが、あえて強調して言うと「使いやすいように見える」ことも大事なことです。最近はスマートフォンにレコーディングなどのアプリを入れて色々なことができますよね。けれど、今までテープレコーダーを使ってた人が、いきなりそれを勧められても「よしやってみよう」とはなりません。第一印象で「面倒くさそう」という気持ちが先行して、モチベーションが一気に下がってしまう。何事もいかにモチベーションを維持できるかが重要です。レクソンマスターは**テープレコーダーの延長のようなイメージで手軽に録音できます**。カセットテープがマイクロSDカードになったと思えばいいわけです。他のレコーダーと比べてレクソンマスターが圧倒的に勝っている点は、**手軽さを大事にしている**ところです。それでい

てさらにこだわりたければ、実は色々な機能がついていますから、物足りなくなった人は新たな機能を使って次のステップへ進むこともできます。あと**すべて日本語表記**というのも日本人に優しくいいですよ。近年カセットテープの取扱いがなくなってきて困っている方も多いでしょうが、レクソンマスターはそういった音楽の愛好家層にぴったりだと思います。

Ocarinaとの相性が抜群

—— 先ほどの「高音質」というお話について、みるとさんは現在RD-R2 (RD-R20の前モデル) をお使いですが、使ってみていかがですか？
みると 実はOcarinaとRD-R2のマイクの位置の相性が良いんです。Ocarinaは壺状の楽器のため、例えばラッパのように音を出す部分が一点ではありません。つまり音孔から漏れる音を拾わなければならない。Ocarinaはあちこちに音が飛ぶため、1本のマイクではレコーディングしきれないんです。耳元では高音が綺麗



に聞こえているのに、正面に置いたテープレコーダーで録って聞くと「なんだか音がスカスカして聞こえる」という経験をお持ちの方がいるかもしれません。その原因

Ocarinaのような特殊な楽器との相性は抜群です。

—— みるとさんも自分の音を録って確認していますか？
僕の場合はリハーサルを録ります。最初にレクソンマスターをポンと置いて録音するんです。その場で周りのメンバーと「ちょっと聞いてみようか」とプレイバックするとき、このRD-R2のスピーカーが活躍します。**こんなに小さなスピーカーで、かなりの音量を出してくれる**んですよ。ここがさすがJVC、音にこだわっている会社で作ったものだという特色が出ている部分だと思います。初心者、アマチュアの方はもちろん、ぜひプロの方にもおすすめしたいですね。



みると コンパクトなサイズも魅力ですよ。僕は練習の時エフェクター、マイク、楽器を一つの小さいケースに入れて運ぶのですが、そこにもピッタリ収まります。この1セットで簡単なリハーサルができてしまいます。

JVC × みると × アルソ出版
JVC丸の内ショールームにて、
今秋イベント開催決定！

詳細は決定次第アルソオンライン、Ocarinaフェイスブックページなどで発表します、乞うご期待！